

主宰作品

染谷秀雄

春子楳

下萌のささやかにしてみな同じ  
包丁の研ぎ場一畳木瓜の花  
もう一つ隣合はせに露の臺  
ちちははの遠忌を数ふ霾ぐもり  
堤焼く煙立ちたり流れたり  
山あひに組みて日の入る春子楳  
おほかたは種漬花の田の面かな  
大川の荷船の上を花吹雪  
土手を焼く汀に近きところまで  
ゆく春を惜しみて月のご宝前